

仙台夜まわりグループでは、路上生活者を対象にしたアンケート調査を実施しました。得られた情報を分析し、支援活動や政策提言に生かしていきます。

- 日時:2022年6月4日(土)
- 実施者:NPO 法人仙台夜まわりグループ
- 実施対象:路上生活者 23 人
- 実施場所:仙台福祉プラザ(仙台市青葉区五橋 2-12-2)9 階 大広間
- 実施時間:午前 11 時 40 分～午後 12 時

- 対象者の平均年齢:62 才。
- 出身地:宮城県内 15 人、その他 8 人(新潟県、山形県、岩手県、北海道他)。
- 現住所:宮城県内 15 人、その他 8 人(東京都、栃木県他)。
- 起居している場所:仙台市内公園 3 人、仙台駅周辺 16 人、知人宅 1 人、寺院等軒下 1 人、ネットカフェ及びファストフード店 2 人。
- 結婚履歴:ある 7 人。ない 16 人。
- 子ども:いる 7 人(子どもが 5 人いるという回答もあり)。いない 16 人。
- 家族との関係関係:良好 1 人、不良 22 人、不良と答えた内音信不通 22 人(最高 20 年間を始め数年間単位で音信不通)。
- 現在の体調:良い 2 人。悪い 21 人。右足の痛み、左手の痛み、極度の疲労、精神的な落ち込み、痛風、身体中の湿疹、腰痛、脳出血、高血圧、糖尿、身体のだるさ、高血圧等 23 人中 21 人が体調不良を訴える。(腰痛、高血圧の数が多い)。
- 定額給付金を貰ったか:貰った 8 人。貰えなかった 15 人。
- 債務の有無:ある 10 人。(全体の約 4 割)。数 100 万の単位で借金がある人もおり、それが原因で路上生活に陥った人もいた)。ない 13 人。
- 一日の食事の回数:1 回(16 人)、2 回(6 人)。(炊き出しがある時だけ食べられる 1 人)。
- 現在一番困っていること:寝る場所がない。金がない。食べることができない。路上生活が長期化し精神不安定になっている。野宿する場所がなく疲れている。将来への希望が得られない。
- NPO や行政への要望:毎週月曜にのシャワーで浴槽にゆっくり浸かれるようにしてほしい。毎月第二,第三,第四の清掃アルバイトの実施回数を増やしてほしい。炊き出しの回数を増やしてほしい。定額給付金を自分にも出してほしい。なんとか生活を楽にしてほしい。コロナワクチン接種の機会を提供してほしい。行政担当窓口の対応がぞんざいで困っている。